

(添付資料)

生物多様性条約第6回実施補助機関会合（SBI6）の概要

■経緯

1. 生物多様性条約第16回締約国会議（COP16）及び再開会合

2024年10月にコロンビア共和国・カリで開催された生物多様性条約第16回締約国会議（COP16）及び2025年2月にイタリア共和国・ローマで開催された再開会合第二部において、2030年に向けた世界目標である昆明・モントリオール生物多様性枠組（GBF）の実施に向けた詳細が決定されました。

2. 生物多様性条約第6回実施補助機関会合（SBI6）

今回の生物多様性条約第6回実施補助機関会合（SBI6）においては、生物多様性条約第17回締約国会議（COP17）に向け、昆明・モントリオール生物多様性枠組（GBF）の達成を支援するために必要な実施面の課題について議論が行われ、勧告案等が取りまとめられる予定です。

■会議の概要

1. 生物多様性条約第6回実施補助機関会合（SBI6）

（1）開催期間

2026年2月16日（月）～19日（木）

（2）開催地

イタリア共和国・ローマ

国連食糧農業機関（FAO: Food and Agriculture Organization of the United Nations）

（3）主な議題

- ・ 資源動員、資金メカニズム
- ・ 計画、モニタリング、報告及びレビュー：生物多様性国家戦略、国内ターゲット、国別報告書の更新
- ・ ジェンダー行動計画
- ・ 能力構築、技術上及び科学上の協力
- ・ 他条約及び国際機関との協力
- ・ 名古屋議定書第4条4の文脈の遺伝資源の取得の機会及びその利用から生ずる利益の公正かつ衡平な配分（Access and Benefit-Sharing: ABS）に関する専門的な国際文書
- ・ 条約及び議定書に基づくプロセスの有効性レビュー
- ・ 条約の運営及び信託基金の予算

（4）会議の公式ウェブサイト

<https://www.cbd.int/conferences/rome-2026>

【参考1】実施補助機関（Subsidiary Body on Implementation: SBI）

第12回生物多様性条約締約国会議の決定に基づき設立された条約の補助機関の一つ。条約の実施や運営に関して、締約国会議（COP）及び他の補助機関に対して助言を行うことを任務とする。

【参考2】「昆明・モントリオール生物多様性枠組」に関するウェブサイト

<https://www.biodic.go.jp/biodiversity/about/treaty/gbf/kmgbf.html>

以 上